学校自己評価報告書

（令和４年度）

令和５年６月

学校法人 名古屋学園
名古屋情報専門学校　高等課程

学校評価委員会

委　員　長	伊藤	和明（校長）
副　委　長	中川	智晶（教務科長）
委　　員	橋本	和弘（事務部長）
	望月	亮祐（教務主任）

目　次

Ⅰ　学校の現況・・・

Ⅰ　学校の現況

（１）学校名

名古屋情報専門学校

（２）所在地

〒４５８－０９２４

愛知県名古屋市緑区有松９１２番地

（３）沿革

昭和５２年　名古屋芸術専門学校を設立

昭和５７年　名古屋商工専門学校に改称

商業実務高等課程を開設

平成　２年　男女共学

平成　３年　名古屋情報専門学校に改称

高等課程　商業科から情報処理科に科名変更

（４）学科の構成

情報処理科	１・２・３年生

（５）生徒数および教職員数（令和４年５月１日現在）

生徒数

		１年生	２年生	３年生	計
情報処理科	男子	２４８	２０５	２０２	６５５
	女子	４１	４２	４２	１２５
	計	２８９	２４７	２４４	７８０

教職員数

校　　長	伊藤　和明
教務科長	中川　智晶
教務主任	望月　亮祐
教　　諭	２３名
養護教諭	１名
講　　師	６名
臨床心理士	１名
事務職員	４名

（６）施設の概要（使用数）

普通教室	・・・	１９
生徒指導室	・・・	1
進路指導室	・・・	1
体育館	・・・	1
図書コーナー	・・・	1
保健室	・・・	1
駐輪場	・・・	1
更衣室	・・・	1

Ⅱ　評価の基本方針

（１）評価の目的

・実践的な職業教育を行う機関として、関係業界等のニーズを踏まえ、理念・目的・目指す人材等をどのように掲げているか。また、質の高い職業教育が享受できる学校運営と専修学校教育の発展を目指すために行う。

（２）評価の体制

・学校評価委員会にて評価する。

（３）評価基準

・設定した教育目標や計画に照らし、具体的かつ客観的なデータに基づき評価する。

（４）評価の公表

・自己評価の結果の報告書には、目標や達成状態および取り組みの適切さを簡潔かつ明瞭に記述する。
・生徒，教職員の個人情報保護や安全確保に留意して、報告書に記述するものと非公開とするものとを区別する。
・学校評価の結果は「学校ホームページ」にて公開する。

（５）結果に基づいた学校運営の充実と改善

・学校評価委員会において、分析および課題の洗い出しを行う。
・次年度に向けた重点目標を設定し、全職員共通認識のもとで、学年・教務・校務・生活指導の分掌単位で改善に取り組む。

Ⅲ　教育目標

本学園の建学の精神「社会から喜ばれる知識と技術を持ち、歓迎される人柄を兼ね備えた人材を育成し、英知と勤勉な国民性を高め、科学技術・文化の発展に貢献する。」に基づいて、教育を行う。よって、生徒一人ひとりのニーズを満足させると共に、質の高い資格を持った技術者を育成し、たくましい実行力を以って社会経済の発展に貢献できる産業人を育成する。

以上の理念を具体的に表しているものが、「校訓」「誓いの言葉」「学習五訓」「生活五訓」であり、これを実践している。

「校訓」

感謝

礼儀

誠実

積極

努力

「誓いの言葉」

私たちは
父母のお陰で
勉学する機会が与えられているか
らその期待にそむかず
一生に二度とこないこの時
を無駄にすることなく
勉学と修養に励み
社会から喜ばれる人間になろう

「学習五訓」

一、学園は勉強の場である
一、学問・技術に情熱をもて
一、能力の自己啓発につとめよ
一、積極的に思索せよ
一、謙虚に学ぶ心をもて

「生活五訓」

一、礼儀を重んじよ
一、規律を守れ
一、心に愛をもて
一、顧みて前進せよ
一、健全な身体を造れ

Ⅳ．評価項目の達成及び取組状況

（1）教育理念・目標

評　価　項　目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
○理念・目的・育成人材像は定められているか （専門分野の特性が明確になっているか）	[4]　3　2　1
○学校における教育の特色は定められているか	[4]　3　2　1
○社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	[4]　3　2　1
○理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	[4]　3　2　1
○学科の教育目標、育成人材像は、学科に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4　[3]　2　1

①課題
- 理念や育成人材像の再認識。
- ＩＴパスポート、情報処理検定、その他各種検定等の取得者増。
- 学力、人物面において、十分な成長を遂げていない生徒もいる。

②今後の改善方策
- 補習体制等の見直し。
- ニーズに応える教育の強化（リーダー的存在の育成）。
- 礼儀などの基本教育を徹底し、謙虚に学ぶ心を強化する。

③特記事項
- 学校の理念、目的、特色は入学説明会に配布する。【本校の指導方針と考え方】に記載し保護者や生徒に周知している。
- 毎朝、「誓いの言葉」の唱和をすることにより、目標とする人物像に向け意識を高めている。
- 企業訪問等、積極的な企業とのコンタクトによりニーズを確認できた。

（2）学校運営

評　価　項　目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
○目的等に沿った運営方針が策定されているか	[4]　3　2　1
○事業計画に沿った運営方針が策定されているか	[4]　3　2　1
○運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	[4]　3　2　1

○人事、給与に関する制度は整備されているか	[4] 3 2 1
○教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	[4] 3 2 1
○業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	[4] 3 2 1
○教育活動に関する情報公開が適切になされているか	[4] 3 2 1
○情報システム化等による業務の効率化が図られているか	[4] 3 2 1

① 課題

・種々の支援を受ける高等専修学校として担う責任を果たし、生徒・保護者・中学校・社会に還元する。
・ホームページで情報公開を行っているが、より一層教育活動内容がわかるよう随時改良する。
・システムの更なる整備。

② 今後の改善方策

・職員会議等で職員間の意思疎通を図り、一丸となって教育活動の効果や業務の効率を更に高める。

③ 特記事項

・校内の運営組織については『組織図』『職務分掌表』において明確に示されている。それに基づき教務、校務、生活指導、事務の各部署は、それぞれの業務を遂行し、かつ各部署が連携し効率的に機能している。
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムにおいては、「理事会」「評議員会」が組織されている。
・職員会議・学年会議・指導科会議が開催され、教職員全員の意思統一がなされている。
・人事、給与に関する制度については、就業規則・勤務評価に関する規程等を教職員が閲覧できるように、「教職員エクストラネット」に公開しており整備されている。
・教育活動に関する情報公開については、学園および本校高等課程のホームページにて掲載し、最新情報の更新に努めている。

（3）教育活動

評　価　項　目	適切…４、ほぼ適切…３、やや不適切…２、不適切…１
○教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	[4] 3 2 1
○教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	[4] 3 2 1
○学科のカリキュラムは体系的に編成されているか	[4] 3 2 1

○キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	[3]	2	1
○授業評価の実施・評価体制はあるか	4	[3]	2	1
○成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	[4]	3	2	1
○資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	[4]	3	2	1
○人材育成目標に向けて授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	[3]	2	1
○関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	[3]	2	1
○職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	[3]	2	1

① 課題
- 教職員の資質向上のため、校内での更なる講習会の実施。
- 更なる職員の能力開発

② 今後の改善方策
- インターンシップ実施に向けた準備として、企業の確保・実施時期・企業との連携方法を研究する。
- 障がい者手帳保持者については、インターンシップによる就業体験を行っている。更に企業数の確保に努める。
- 研修的な研鑽の実施。
- 部署内での打合せを増やす。

③ 特記事項
- 本校は技能連携校として高等学校卒業資格が与えられ、また、大学受験資格付与指定校でもあるので、それに伴う特色を持ったカリキュラムが組まれている。
- 進路指導は、本校独自の「進路の手引き」を作成し、また、３年生１学期には保護者を招いての進路説明会を実施し、２年生後半に本校専門課程の説明会を実施している。
- 課題研究及び総合的な学習の時間においても資格や検定試験、更に進路に向けての取り組みを行っている。あわせて、疑似就労体験を図るべくジョブ・トレーニングを実施している。
- 校内外において、積極的に資格を取得するよう講習などを受ける機会を増やし、更に、夏休みを就職活動のために有効に活用している。
- 教育理念に沿ったカリキュラムを実践した。

（4）教育成果

評　価　項　目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
○就職率の向上が図られているか	4　[3]　2　1
○資格取得の向上が図られているか	4　[3]　2　1
○退学率の低減が図られているか	4　[3]　2　1
○卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4　[3]　2　1
○卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか。	4　[3]　2　1

① 課題

・就職に有利となる資格取得を奨励し、一般常識の習得をする。
・求人企業の新規開拓。
・長期欠席者や学習意欲欠如による退学の防止。
・学習意欲の欠如、家庭の事情、不登校、障がい者手帳保持者等に適応する多面的な対応の継続。

② 今後の改善方策

・資格検定指導を含めた学習指導計画の作成と実践の継続。
・家庭との密な連絡、家庭訪問、臨床心理士の活用など。
・退学の理由は、経済的理由、家庭の事情、不登校など多様である。よって、生徒を多面的に理解し、些細な変化も見逃さず、臨床心理士の協力も得て、家庭との連絡も一層密にしながら担任を中心に学校全体で対応する。

③ 特記事項

・求人依頼のための企業訪問などにより、就職斡旋を実施。
・本校が推奨し取り組んでいる主な資格検定は次の通りである。受験に当っては可能な限り、合格対策補習講座等を実施し指導にあたっている。

情報処理検定
ビジネス文書実務検定
ＩＴパスポート
実用漢字検定
実用英語検定
危険物取扱者
介護職員初任者研修
ボイラー取扱技能講習

（５）生徒指導・生徒支援

評　価　項　目	適切…４、ほぼ適切…３、やや不適切…２、不適切…１
○基本的生活習慣の確立のために取り組んでいるか	4　[3]　2　1
○進学・就職指導にかかる支援体制は組まれているか	[4]　3　2　1
○生徒・保護者からの相談体制が組まれているか	[4]　3　2　1
○生徒の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4　[3]　2　1
○生徒の健康管理を担う組織体制はあるか	[4]　3　2　1
○保護者と適切に連携しているか	4　[3]　2　1
○クラブ活動等特別活動を奨励、支援しているか	4　[3]　2　1
○課外活動に対する支援体制は整備されているか	4　[3]　2　1
○卒業生への支援体制はあるか	4　[3]　2　1

①課題
- 基本的生活習慣（礼儀・マナー・挨拶・態度・服装・言葉遣い等）の教育重視。
- 多機能携帯電話（スマートフォン）の乱用により、人間関係等の種々多様なトラブルが起きている。
- 保護者との連携をより強化する。

②今後の改善方策
- 遅刻や安易な欠席をさせないため、日頃から将来を考えた行動を意識させる。また、教員が授業中と放課に校内を巡視する体制をつくる。
- ＳＮＳ（LINEやFacebook等）で起こりうる危険性を理解させる。
- 家庭との連絡を密にし、必要に応じて家庭訪問を実施する。
- 部活動に入部していれば、就職の際に有利になることをしっかり理解させ、高校生活を有意義にさせる。

③特記事項
- 学級担任は、生徒が安心して学校生活が送れるよう、落ち着いた明るい学級づくりを行うことで、退学防止に尽力している。
- いじめ防止を徹底するため、月に１回いじめ防止対策委員会（学年別）を実施し対応している。
- 多機能携帯電話（スマートフォン等）の乱用による問題発生の恐れもあるため、トラブルの防止策のひとつとして、校内では、多機能携帯電話（スマートフォン等）を毎朝回収し学校が預かる体制を整えている。
- 部活動は体育系５部・文科系１部が活動しており、体育系は高等学校体育連盟に加盟している。また、同好会として体育系１、文科系２が活動している。
- 看護師資格を所持している専任の養護教諭が、生徒の健康管理を担っている。

（６）教育環境

評　価　項　目	適切…４、ほぼ適切…３、 やや不適切…２、不適切…１
○施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	[4]　3　2　1
○学内外の実習施設、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか	4　[3]　2　1
○防災に対する体制は整備されているか	[4]　3　2　1

①課題
- 実習教材の整備、施設・設備の有効利用を図る。
- 職業教育の充実を図る。
- 避難訓練の内容をマンネリ化させない。
- 電子黒板の導入により一層の教科面での充実を図る。

②今後の改善方策
- 企業の生の声を聴く機会を設け、ハローワークとの連携を更に強める。

③特記事項
- ５か年一貫教育のため専門課程との連携を更に深める。特に情報教育を充実させるためパソコン機材を拡充を図っている。
- 多目的スペースを設置し、生徒と教員とのコミュニケーションを充実させている。
- 校舎内にWi-Fi環境を整え、更に電子黒板を導入し、教科指導の充実に繋げている。

（７）生徒の受入募集

評　価　項　目	適切…４、ほぼ適切…３、 やや不適切…２、不適切…１
○生徒募集活動は、適正に行われているか	[4]　3　2　1
○生徒募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	[4]　3　2　1
○学納金は妥当なものとなっているか	[4]　3　2　1

①課題
- １５歳人口減少への対策。
- 広報での更なる工夫。
- 体験入学や学校見学会、学校説明会等の内容充実。

②今後の改善方策
・中学校訪問において進路指導主事や３年生学年主任との連絡を密に取り、本校の教育方針を理解していただき、より多くの体験入学や学校見学に参加していただき、入学者数の増加を目指す。
・ホームページ、学校案内を一層充実させる。

③特記事項
・中学校訪問の際は、事前のアポイントメントを必ずとり、入学生および在学生の近況報告と３年生の進路決定についても報告している。
・学納金は、妥当であるか検討し、一覧表を配布して明確にしている。

（８）財務

評　価　項　目	適切…４、ほぼ適切…３、やや不適切…２、不適切…１
○中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	[4]　3　2　1
○予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	[4]　3　2　1
○財務について会計監査が適正に行われているか	[4]　3　2　1
○財務情報公開の体制整備はできているか	[4]　3　2　1

①課題
特になし

②今後の改善方策
特になし

③特記事項
・公認会計士による会計帳簿の証憑突合等を行う会計監査、規程に基づいた内部監査を行い、適正に実施されている。

（９）法令等の遵守

評　価　項　目	適切…４、ほぼ適切…３、やや不適切…２、不適切…１
○法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	[4]　3　2　1
○個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	[4]　3　2　1
○自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	[4]　3　2　1

○自己評価結果を公開しているか	[4]　3　2　1

①課題

特記事項なし

②今後の改善方策

・個人情報の漏えい防止は、常に配慮する。

③特記事項

・法令、専修学校設置基準等の遵守と運営に関しては、学園法人事務局が法令遵守についての総合的な管理にあたっており、適正であり問題ない。
・個人情報を適正に取り扱うために、関係諸法令および文部科学省大臣をはじめ主務大臣のガイドラインに定められた義務（利用目的による制限、適正な取得、正確性の確保、安全性の確保、透明性の確保等の原則）を誠実に遵守している。
・個人情報の保護に関する法律の趣旨を尊重し、個人情報の保護に努めるとともに、法第１８条等に基づき文書【個人情報の取り扱いについて】にて生徒、保護者へ通知している。

（10）社会貢献・地域貢献

評　価　項　目	適切…４、ほぼ適切…３、やや不適切…２、不適切…１
○学校に教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4　[3]　2　1
○生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4　[3]　2　1
○地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4　3　[2]　1

①課題

・生徒会の募金活動や生徒のボランティア活動においては、安全性や適切な生徒数と指導教員数をよく検討して活動する。
・地域に対する公開講座・教育訓練を積極的に実施する環境は、実施日や時間の制約の問題、高等課程の特質上生徒教育や部活動指導に比重がかかるということから、現在は積極的な受け入れは困難である。

②今後の改善方法

・生徒会の綿密な計画により、募金活動やボランティア活動を検討する。
・今後も可能な限り柔軟に学校施設を提供できるよう対応策を検討する。

③特記事項

・奉仕活動関連については、まだ校外清掃レベルにとどまっている。

Ⅴ　学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

Ⅳの評価項目及び取り組み状況は、ほとんどの項目で「適切」や「ほぼ適切」と評価することができ、見学の精神の具現化に取り組めている状況である。

高等専修学校は、人格の陶冶に努めることを旨とし、実践的な職業教育を施すことに加え、近年は学習面での自信喪失や不登校等の悩みを抱えた生徒の指導や障がい者手帳保持者の生徒指導も担っている。こういった生徒の自立支援という側面の期待にも応えるべく、社会から愛され信頼される学校づくりに、今後もより一層の学校充実を図らねばならない。

以　上

学校法人　名古屋学園
名古屋情報専門学校
高等課程